

●施策名

【施策17】安全で安心できる学習環境の整備を促進します

(関連指標：指標64～指標68 (P58))

- i 教育相談体制の整備【再掲】
- ii 感染症対策の推進や学校安全体制の整備
- iii 児童生徒の安全の確保と防災教育の推進
- iv 県立学校施設の耐震化及び老朽化対策などの推進
- v 市町村立学校施設の耐震化及び老朽化対策などの促進
- vi 経済的困難を有する家庭の子どもへの支援
- vii 学校等における安全・安心の確保

●代表的な取組の進捗状況

- iii 児童生徒の安全の確保と防災教育の推進
 - ・ 教員の危機管理意識を高めるとともに、学校安全に関する専門性を身につけるために、学校事故防止対策研究協議会や学校安全指導者研修会、学校災害安全指導者研修会を開催しました。なお、すべての公立学校において学校安全計画及び学校防災マニュアルを整備しています。
 - ・ 救急体制の整備を図るため、県立学校等へAED（自動体外式除細動器）を配備しました。
- iv 県立学校施設の耐震化及び老朽化対策などの推進
 - ・ 耐震性能の低い校舎・体育館の耐震改修工事を実施したほか、大規模改修と併せた耐震改修工事、校舎改築工事を実施しました。
- vi 経済的困難を有する家庭の子どもへの支援
 - ・ 東日本大震災により被災、または、原子力発電所の事故により避難している児童生徒へ就学支援を行っています。

●問題点・改善等が必要な項目

- ① 県立学校施設の耐震化及び老朽化対策などの推進
 - ・ 学校施設の耐震化、老朽化対策の計画的な推進。
- ② 経済的困難を有する家庭の子どもへの支援
 - ・ 高校授業料無償化（私立は高等学校等就学支援金制度）の改正に伴い、導入が想定される低所得世帯を対象とした新たな奨学のための給付金への対応。

●取組の方向性

① 県立学校施設の耐震化及び老朽化対策などの推進

- ・ 被災後の拠点施設としての機能確保からも耐震性の確保が求められていることから、引き続き計画的な耐震改修の実施に努めます。

② 経済的困難を有する家庭の子どもへの支援

- ・ 経済的理由により修学が困難な高校生・大学生等を支援するため、引き続き奨学金の貸与を図ります。
- ・ 授業料以外の教育に必要な経費を支援するため、平成26年度より高校生等に対し、奨学給付金の給付を実施します。

●主な指標の状況

・指標 1

県立学校施設の耐震化率

現況値

83.8%

年度別目標値

84.0%

評価

おおむね
順調

①評価の理由

現況値がおおむね目標値に達しており、従前からの改善もみられるため。

②今後の取組

計画的に耐震化を進めていく。原子力災害により使用停止となっている県立学校施設についても、区域見直しや市町村計画による除染の状況を見ながら耐震化を推進していく。

